



「高卒新卒採用求人を出すときに知っておきたいポイント」

【図1】高卒新卒採用スケジュールと採用のルール

時期	スケジュール内容	採用ルール
4～5月	採用計画	
6/1～	ハローワーク求人受付の開始	受付開始
7/1～	ハローワークから求人票 →学校へ送付	求人公開
夏休み	応募前職場見学受入れ	
9/5～	学校推薦(応募)	1人1社応募
9/16～	選考内定	
11/1～	2次募集と選考	複数応募可

【図2】高卒新卒採用の求人票作成のポイント

仕事をしているイメージがわくよう平易な言葉で書く
どのように仕事を習得していくか、育成体制について
新人社員への安全対策について
職場の様子、先輩社員の声、社長の言葉など
資格取得支援、シフト制の場合シフトの組み方など

【図3】若者の求人にも有利な認証・登録制度

ユースエール認定企業
安全衛生優良企業
社労士診断認証制度
おかやま若者再チャレンジ応援宣言企業

参照:「採用を成功させる実務ノウハウ新規高卒者」(日本法令 ビジネスガイド 2023年3月号)

① 求人窓口を広げる時期

岡山県の最新の有効求人倍率は1.58倍。求人の数は昨年から変わっていませんが、求職者の数が減っているため求人倍率は高くなっているようです。

高卒新卒求人倍率は昨年9月末時点で2.18倍と、過去3番目に高い数字となっています。同様に求職者(生徒の人数)が減っていることが考えられます。

これからますます人手不足感が加速していくことが推測できますが、とくに小規模事業所でも求人「窓口」を広げ、幅広い採用方法をとるべきではないかと思えます。そのため今回はまず、高卒新卒採用についてお届けします。

② 高卒新卒採用のルール

高卒新卒採用を行う前に、ルールを理解しておく必要があります。高卒新卒採用のルールとして、大きく次の3つがあります。

①高卒新卒採用では学校がハローワークの求職相談のような役割を果たしています。また、②1人1社体制で9月5日から一定期間は生徒1人につき1社しか応募できません。そして、③求人申込みから公開、応募、選考内定、複数応募可までスケジュールが決まっていますので、高卒新卒採用のスケジュールを確認しておく必要があります。

③ 中途採用の求人との違いに注意

高卒新卒採用では、求人票をハローワークで作成したあと、採用したい学生がいる学校へ提出します。このとき求人票はできるだけ持参し、自社のPRを行うとよいでしょう。

基本的な求人票の書き方は中途採用者と同じで、やはり生徒自身が自分がここで働くというイメージがわくよう知りたい情報を書くことが重要です。また、ご本人だけでなく学校の先生や親の影響があることを念頭に、作成していくことを心掛けましょう。

事務所日誌

●2月の事務所の活動

- 7日 井原商工会議所人材育成交流会理事会に参加
- 9日 井原商工会議所「定例労務相談」相談員
- 15日 オンラインで早朝読書会「いばら朝喝同好会」に参加
- 20日 SDGs導入研修の講師
- 21日 オンライン読書会「ゆうかつ」に参加

■編集好き

▼4年に一度のWBC(ワールドベースボールクラシック)が始まります。日本人選手が世界のチームと対戦し活躍している姿をみるだけでも元気がもらえるためいつも楽しみにしています。今年は個性豊かな選手が出場するためますます楽しみです(SS)

●SDGsマッピング



事務所のお仕事紹介

先日、クライアント企業さまで3回目のSDGs導入研修の進行役を務めさせていただきました。3回目からはいよいよ佳境に入ります。

自社の今していることをSDGsのゴールナンバーに結びつける作業をしていきます。

注意しておきたいのが、結びつけたゴールナンバーとの関連の深さ、根拠は何かになります。

これがないと自己満足で終わってしまいますので、様々な角度からの議論が必要になります。

次の4回目では未来の姿から考えるSDGsに取り組めますので、さらに深い議論になっていくことでしょう。

(妹尾 悟)